

市議会議員
かけのまち子
電話/Fax 53-7727
kakenom@xj.commufa.jp



市議会議員
みわ 陽子
電話/Fax 54-6712
yokko0520mi@yahoo.co.jp



NO. 482 2021.3.11
日本共産党江南市委員会

あすの江南

前市議 森ケイ子 電話/Fax 57-2753
前市議 東よしき 電話/Fax 54-7977

* 困り事は早めにお気軽にご相談ください

日本共産党江南市議員団 HP

「市障害者手当の削減やめて」市内透析患者会が請願

開会中の江南市議会3月定例会に、佐藤病院患者会と愛知県腎臓病協議会から請願が提出され、党議員団2人が紹介議員になりました。請願は「心身障害者扶助料の支給見直しに関する」もので、「市内に234名いる透析患者は、コロナ感染による重症化の危険に耐えられない環境を強いられている。命をつなぐ心身障害者扶助料の拙速な支給停止を止めてほしい」と求めています。

請願は厚生文教委員会（みわ議員所属）への付託が決まり、請願者の意見陳述も予定されています。

65歳以上、新規の障害者手帳取得者は 手当支給から除外する規定も

定例会には、関連する条例改定案と予算（3,081万円の削減）が提出されており、8日の議案質疑でかけの議員が質しました。

その中で市は更に「65歳以上で新たに障害者手帳を取得した人に対し、今後は月2,000円～3,000円の手当を支給しない。これにより約250人、年間約403万円の支給増加を抑制することを見込んでいることもわかりました。

手当打ち切りの影響を受けるのは市内に5,000人おられる障害者のうちの874人。国・県の手当も同時に受給する重度障害



の人たちです。国・県の手当に比べ少額な市手当を打ち切っても、生活への影響は少ないと市は主張しています。果たして本当でしょうか。請願者の訴えをよく聞くことが求められています。

コロナ対策
追加予算

小中学校のトイレ清掃員、スクールサポートスタッフ1年間継続 昨年と同規模、プレミアム付き商品券第2弾の発行も

江南市への第3次分新型コロナ対応地方創生臨時交付金3億4232万円を活用するコロナ対策事業とワクチン接種事業を盛り込んだ2021年度補正予算が8日、追加提案されました。

この中に、日本共産党議員団がくり返し要望していた、小中学校のトイレ清掃の外部委託、スクール・サポート・スタッフ（各校1人）の配置を新年度、1年間継続する経費計6,788万円が計上されました。

また昨年の秋から冬にかけて行った、プレミアム付商品券の発行を前回と同規模・同内容で行う予算3億195万円も計上されました。5,000円で7,500円分の買い物ができる商品券購入引換券

を全市民に送付して市内郵便局で販売。2,500円分を中小店限定、5,000円分を全店共通券とし、日曜日の販売も計画。売れ残った商品券は混乱をさけるため、申し込み者への抽選販売とする予定。商品券販売は6月下旬からの予定です。

ワクチン接種に6億3,157万円の追加予算

新型コロナワクチンの接種事業に、新年度分の追加予算が計上されました。送付される接種券に同封の予約案内文書にしたがい、コールセンター（3/15開設）や予約専用のHPで予約するか、個別接種を希望される方は各医院に直接連絡し予約して下さい。

弱者に寄り添う生活保護行政に かけのまち子議員

一般
質問

長引くコロナ禍で、生活困窮世帯に大きな影響が出ています。しかし2020年度（1月末）で保護の相談176件に対し申請が58件、廃止55件。被保護者521人は65歳以上が67%。コロナ禍でも江南市の生活保護世帯は増えていません。

「生活保護の申請は国民の権利。ためらわず申請を」と呼びかける厚労省HPを紹介。市福祉事務所の実態と問題点、申請へのハードルを下げる取り組みや財政面を質しました。

扶養照会122件で援助ケースはゼロ

申請への大きな壁が、親族へ援助可能かどうかを問い合わせる扶養照会。江南市では今年度、新規に122件扶養照会し、援助につながったケースはゼロとの答弁でした。「扶養照会は義務ではない」との大臣答弁や弾力的運用の通知も出ていますが、江南市では根本的には改まっていません。

ケースワーカー1人あたりの担当世帯が標準80を超える86.6世帯と人手不足の上、配属からの経験年数が極めて浅い職員ばかり。慢性的ストレスで、職員のメンタルヘルス問題も発生しています。経験豊かな正規のケースワーカーの増員を強く求めました。

新型コロナ対策を進めるために みわ 陽子議員

ワクチン頼みでは、新型コロナウイルスの収束は難しい。重症者を減らすためには、介護施設などでの定期的なPCR等の検査が必要である。世田谷区が施設での社会的検査を進めて、陽性者を大幅に減らした例を示して、市でも定期的な検査ができないかと質問しました。

「県で3月中に介護施設と障害者施設の職員に対し一度検査を行うことになった。事業所の中には自主的に定期的な検査をしている所もあり、市として定期的な検査の予定はない」との答弁でした。

ジェンダー平等をめざして

学校教育の中で、ジェンダー平等や性自認、性的指向など性の多様性について学ぶ機会があるかどうかを質しました。

道徳で「差別・偏見を持たない。個性を伸長する」。保健体育で身体と心の発達について学ぶとのことでした。中学入学の際に「男女共同参画宣言文」やLGBTなどを載せたパンフレットを配っているとのことでしたので、思春期を迎える前にジェンダー平等や性の多様性について学ぶよう要望しました。